

月例英国経済概況 (2009 年 7 月)

1. 現 状

(1) 全体観

- 1-3 月期の実質 GDP 成長率 (3 次速報値) は、前期比▼2.4% (2 次速報値より▼0.5% 下方修正)、前年比▼4.9%となった (図①)。前期比では 1974 年 1-3 月期 (同▼2.5%) 以来、前年比では過去最大のマイナス。民間消費、民間投資が落ち込みの主因 (図②)。
- イングランド銀行金融政策委員会は、7 月 8、9 日の会合で、政策金利のオフィシャル・バンク・レートを 0.5%に据え置くとともに、資産買取プログラムの規模を 1,250 億ポンドに据え置いた。次回 8 月 5、6 日の会合で、四半期に一度のインフレーションレポートの最新結果を踏まえて、同プログラムの規模について検討すると表明。

(2) 企業活動

- 3-5 月の鉱工業生産は前期比▼1.8% (2-4 月は同▼3.2%)、製造業は同▼1.2% (2-4 月は同▼2.9%)。減少ペースが縮小 (図③)。ただし、5 月単月では前月比▼0.6% (4 月は同 0.1%) と再び減少傾向に転じる。

(3) 雇用関連

- 3-5 月の失業率 (3 ヶ月平均) は 2-4 月分に比べ 0.4%ポイント高い 7.6% (図④)。1996 年 11 月-1997 年 1 月 (7.7%) 以来の高水準。

(4) 家計消費・住宅価格

- 3-5 月の消費 (小売数量、季節調整済) は前期比 0.3% (2-4 月は同▼0.3%) と微増に転じる。ただし、5 月の前年比は▼1.7%と減少に (4 月は同 2.7%)。
- 6 月の住宅価格は、ハリファクスでは、前年比▼15.0% (5 月：同▼16.3%) と下落幅縮小。ただし、前月比は▼0.5% (5 月同 2.6%) と再び下落。ネーションワイドでは、前年比▼9.3% (5 月同▼11.3%) と下落幅縮小。前月比は 0.9% (5 月同 1.3%) と 2 ヶ月連続の上昇 (図⑥)。

(5) 物価・金利

- 6 月の C P I 上昇率は、5 月の前年比 2.2%を下回る同 1.8%に低下 (図⑦)。

(6) 為替

- ポンドが、ユーロ、ドル、円に対して反落。特に対円では、ドルに対する円高が進んでいることもあり、円高・ポンド安が進む。(図⑩、⑪、⑫)

2. 今 後

(1) メインシナリオ

- 銀行と家計のバランス・シート問題から経済活動が萎縮。2009 年はマイナス成長に。雇用情勢の悪化や家計の債務圧縮の動きが今後も消費を抑制。

(2) リスクシナリオ

- 銀行、家計のバランス・シート調整次第では、景気後退が長期化する可能性。

平成 21 年 7 月 14 日
在 英 大 経 済 班

市場の推移(2009年7月)

